

第9回当別町史編さん委員会 会議概要

日 時：令和4年3月29日（火） 午後3時

出席者：（事務局）長谷川総務部長、佐藤総務課長、五東主幹、村田係長、藤原主査
石川社会教育課長、下村文化財保護係長
倉田歴史研究専門員、（株）須田製版担当者

（委 員）竹田委員長、松尾副委員長、白井委員、野口委員、大口委員、曾川委員、
大畑委員

1 開 会 佐藤総務課長

2 挨拶 竹田委員長

3 議 事

(1) 町史原稿の提出及び校正について

事務局より、委員の方に渡す原稿の内容及び校正の仕方について説明し、理解を得た。
主な説明内容については、以下のとおり。

・町史は現在の町民を始め、20年後、30年後の人々に読まれるもの。また、町内、
道内のみならず、姉妹都市の方々や、当別町移住に関心のある方々なども読者として
想定されるものであることから、町内の人がわかれば良いという記述ではなく、事実
に即するとともに、広く読者が理解し、興味を持てるものとなるよう編さん委員の皆
様のご指摘をお願いしたい。

・今回渡す第1回目の校正を「初校」と呼ぶ。初校は筆者の原稿を1回整理した状態。
完成形からすると、70%程度の状態とご理解いただきたい。現状では、一部写真や
図表を組み込んでいるが、基本的には本文と、その他の要素を組み合わせてはいない。
委員の皆様には、文章について「もっと書くべき点はないか」「この記述は不要では
ないか」を検討、指摘いただきたい。また、図表、写真についても、こんな写真、図
表がもっと必要、これは不要などのご指摘もいただきたい。追加するにあたって、必
要な情報源、取材すべき人物等ご教授いただけたら幸いです。

・2回目の校正を「再校」と呼ぶ。初校の指摘に基づいて修正し、文章に写真と図表
を組み込んだ状態。この状態が印刷物のイメージに近い状態となる。その時点で改め
て文章をチェックしていただくとともに、図表、写真の確認やデザイン面の確認もお
願いしたい。

・3回目の校正は、すべてのページを通して見ていただく。「通し校正」と呼ぶ。順
を追って、間違いなく再校の指摘が正しく反映されているかをチェックしていただ
く。

・校正については、委員会の中で決めた「当別町史編さんの基本方針」に沿った原稿
になっているか、といった視点で確認いただきたい。

・今回渡す原稿は、以下のとおり。

第1部 第1章 気象	5 ページ
第1部 第3章 植物	36 ページ
第1部 第4章 動物	38 ページ
第2部 第3章 近代の当別町	66 ページ

(2) 今後の町史原稿提出スケジュールについて

事務局より、今後の原稿提出スケジュールについて説明し、理解を得た。

主な説明内容については、以下のとおり。

・町史全体で、約1,000ページを予定しているが、大体1回あたり100ページ前後の原稿を委員の方に渡して、校正を戻してもらおうというのを、10回程度繰り返し、令和4年11月頃には初校の提出を終える想定をしている。

・次回の委員会の際に渡す原稿は、第2部 第1章 当別町の遺跡、第3部 第1章 まちの姿の移り変わり を予定している。

委員より以下の質問があった。

(委員)

動物の写真は、町外で撮った写真になりますか。

(事務局)

町内に写真ご提供の方がいてくださって、ほぼ町内で撮影したものになります。

(委員)

写真については、撮影場所についての記載もあったほうが良いと思う。

(委員)

当別では最近アライグマの被害が増えている。アライグマについても記述や写真が必要だと考える。

(事務局)

執筆者と相談したい。

(委員)

これまで聞き取り調査も行っているということだが、今後の予定は。

(事務局)

これまで、農協、商工会、JR新駅の担当部署、社会福祉協議会等に伺っている。今後は、コロナ対応された部署、土地改良区、町内の社会福祉法人などを予定している。

(委員)

印刷部数は何部か。

(事務局)

次回以降の委員会で、道内の各市町村が何部くらい作っているか、どれくらいの金額で販売しているか等をお見せして、委員会の中で決定していただきたい。

(委員)

ホームページなどから閲覧できるようなことも考えているのか。

(事務局)

そういったことも今後検討していく。

次回会議の日程を5月中旬から下旬頃とし、閉会した。